

### 平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域で進めるモデル竹林整備事業
事業主体 (連絡先)	喬木村
事業区分	(4)安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	678,240 円

#### 事業内容

地域から整備候補地を挙げてもらい、モデル竹林として整備する。伐採した竹は木材破砕機でチップやパウダーにし、希望者に無償配布し有効活用を図る。

無煙炭化器と防災イベントストーブを購入し、竹炭づくりや村の総合文化祭等でPRする等、竹の有効活用についてさらに研究を進めていく。



【無煙炭化器による竹炭づくり】

#### 【目標・ねらい】

#### 事業効果

- ① 交通に支障がある箇所、日陰で薄暗く防犯や景観の面から整備が必要な箇所で竹林整備を推進できた。
- ② 区長会や村の情報誌で竹林整備の情報提供をしたところ、モデル竹林整備以外でも、各地で地域住民による竹林整備が実施された。
- ③ 木材破砕機によるチップやパウダーは、農地の土壌改良剤等に有効活用された。竹炭はまだ研究段階のため、今後の活用に向けた研究を進めていきたい。
- ④ 目に触れやすい場所にある竹林を整備したため、多くの地域住民に認知された。今後も周知を図り、地域住民による竹林整備の推進を図っていきたい。

- ① 地域で選定した竹林の整備
- ② 地域住民による整備の推進
- ③ 竹林の維持と有効活用
- ④ 地域住民への周知

※自己評価【 B 】

#### 【理由】

安全・安心な地域づくりという観点に沿った竹林整備が推進できた。

#### 今後の取り組み

目に触れやすい場所での竹林整備を実施したため、近隣における竹林整備の相談が出てきており、今後の整備推進に繋げていきたい。

また、木材破砕機を利用し竹をチップやパウダーに加工することで、伐採後の竹が有効活用されるようになったため、購入した無煙炭化器や防災イベントストーブの活用を含め、更なる有効活用について周知と研究を図っていきたい。